

構成	1年	2年	3年	4年		
	5年	稲葉	6年	山田		
本年度の重点目標・努力点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の日常生活とのかかわりの深い題材を設定することにより、家庭生活を支えている身近な物や家族、仕事などについて関心を高め、家族の一員として進んで実践しようとする態度を育てる。 ○ 習得した知識や技能を基に考えたり、調べたり、活用したりする学習を通して、家庭生活をよりよくしようと自分なりに工夫する能力を育てる。 ○ 衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、製作や調理など、生活の自立の基礎として必要な技能を身に付けることができるようにする。 ○ 個に応じた指導や繰り返しの学習を通して、衣食住などに関する生活の自立の基礎として必要な知識を身に付けることができるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ◇ 衣食住などに関する実習や観察、調査、実験などの実践的・体験的な活動を一層重視し、実感を伴った学習となるように指導の工夫に努める。 ◇ 衣食住など生活の様々な言葉を実感をもって理解したり、自分の生活における課題を解決したりするために、言葉や図表などを用いて生活をよりよくする方法を考えたり、実習などで体験したことをまとめたり、発表したりするなど、言語活動の充実を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 食に関する指導に関しては、栄養教諭等と連携するなど、指導の充実に努める。 ◆ 学習した知識と技能を実際の生活で生かす場面を設定したり、児童生徒が習得した知識と技能を生活に活用したりできるような指導を工夫する。 ◆ 各校における教育課程の編成及び年間指導計画の作成に際しては、北九州スタンダードカリキュラムを参考にする。 					
備品整理	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭科備品・消耗品の整備点検 ○ 購入希望の調整 (ミシン糸白・黒、調味料、食器洗剤、スポンジ、茶わんふきん、台ふきん など) (まな板立て、三角コーナーのビニル) 急須(大) 食器(40) 					
環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭科室の整理整頓に努める。(衛生面・管理面から) ○ 安全の保持や事故防止に努める。 ○ ガスの元栓(準備室)の開閉は、必ず担任が確認する。 ○ 調理実習後は、特に片付けに気をつけ、衛生的にする。流し台のふたは、開けて乾かしておく。また、残った材料・生ゴミは、必ず各学級で処分する。(生ゴミは、職員室のポリバケツへ出す。) ○ 包丁、ガスの元栓の鍵の管理を徹底する。 ○ ミシンの調整を春休みに予定し、児童の使いやすい場になるよう努める。 ○ 掲示物の工夫 					
年間計画	1 学 期		2 学 期		3 学 期	
	4月	備品・消耗品の購入	9月		1月	
	5月		10月		2月	
	6月		11月		3月	備品の点検・整理
	7月	備品整理	12月	備品整理		